

市民・野党共闘の発展で政治を変えよう

新久喜

7・8月号
発行
日本共産党
久喜市委員会
久喜市南-11-22
Tel.22-2365



ひまわりの花

日本共産党6議席に大躍進

7日10日の参議院選挙で日本共産党は改選3議席から6議席へと議席倍増させ、非改選と合わせて14議席へ前進しました。

比例代表選挙の得票では601万6千票を獲得、前回参院選の515万4千票を上回りました。

埼玉選挙区では伊藤岳候補が議席獲得に至りました。

でも3分の2議席を超えたとされませんが、選挙中、改憲について語らなかつた安倍首相に国民は改憲発議など「白紙委任」していません。共産党の躍進で、安倍政権の暴走を許さず、新しい政治の実現へ力を合わせましょう。

参議院選挙久喜市の結果（共産党）

○比例代表			
政党名	今回	前回	比較
日本共産党	9,140	7,207	1.3倍
○埼玉選挙区			
候補者名	今回	前回	比較
伊藤 岳	10,605	7,434	1.4倍

※前回は、2013年参議院選挙

平和行進 久喜市から広島・長崎へ



2016年原水爆禁止国民平和行進が、久喜市でも広島・長崎に向け元気に行進しました。

7月13日は久喜市役所本庁前広場を出発し、鷲宮へ、栗橋では栃木と合流し、21日の菖蒲へとペナントが引き継がれました。各地域では広島・長崎の原爆被害を繰り返すな。憲

法9条を守れ。安保法制（戦争法）は許さないなどのシュプレヒコールが沿道に響き渡りました。

参加者の挨拶では、今年も「参議院選挙で勝利した野党共闘の力で立憲主義、平和主義を取りもどそう」と訴えられました。



市民・野党の共闘に効果あり

戦争法に反対した青年や女性、学者などの市民の共同に後押しされて、戦争法廃止・立憲主義回復の大義のもとに結集した、市民と野党の共闘は、最初の国政選挙への挑戦としては大きな成功をおさめました。

全国32の1人区すべてで野党統一候補を擁立し、11の選挙区で激戦を制して自民党候補に勝利したことは、市民・野党共闘の効果を鮮明に表しています。

前回の野党候補合計票と比較すると、青森では前回野党候補の合計は24万票でしたが、今回は約30万票を獲得、山形では前回29万票から34万票、宮城では前回21万票から51万票を獲得、また、長野でも前回30万票から57万票を獲得するなど、野党統一候補は1人区のひとつひとつの選挙区で、共闘の効果から獲得票数を伸ばしています。

安倍政権の暴走政治ストップのために、市民・野党共闘で戦う東京都知事選挙へと発展したことは、政治を変えるうえで極めて重要です。日本共産党の果たすべき役割はますます大きくなっています。

ホットライン

憲法その未来と現実

参議院選挙後に、憲法をめぐる議論がされています。

選挙中、安倍自・公政権と両党はアベノミクスの「優位」などこのみを語り、憲法、安保法制（戦争法）の危険性を隠し、野党共闘からの立憲主義、憲法9条、平和主義と自民党の憲法「改悪」草案の論戦さえ拒否し、日本の未来をバラ色に描こうと画策しました。今後、消費税増税の先送りとともに、憲法をめぐる議論は国会の憲法調査会、国民投票へと安易に連動させようとする安倍政権の狡猾さと合わせて、決して見過ごすわけにはいきません。

そして、現実的な問題です。世界で「戦争ができる国」への一歩が踏み出されています。先日、南スーダンの内戦の再燃で戦闘が激化する中、国際協力機構の邦人退避のため、ジュバに派遣されている平和維持活動（PKO）で自衛隊の輸送機C130が出動しています。宿営地に流れ弾が飛んできたことも確認されています。

「戦争法」が施行され、違憲状態の中、一発触発で殺し、殺される危険性ははらんでいます。参議院選挙での野党共闘の大きな成果の上に、平和憲法の未来へ向け、歩みをさらに前進させる運動に発展させる必要があります。

(き)